

1 取り付け位置を確認する

設置上のお願

カメラの取付場所について

- 取付場所は丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。
- あらゆる方向からの直射日光や風雨が当たるような場所への設置は避けて、建物の外壁などに設置してください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- フールなど薬剤を使用する場所
- 湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性気体などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用周囲温度（-20℃～+50℃）を超える場所
- 車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンジカバーが曇ったり、結露したりする場合があります）

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

設置作業の前に

- 本機を木製天井や壁面に取り付ける場合は、付属のねじBを使用してください。木製部以外に取り付ける場合は、取付場所の材質や構造、総重量を考慮して別途ねじをご用意ください。
- 設置する面および使用するアンカーやねじは、十分な強度を確保してください。
- 石こうボードなど強度が弱い部分には取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は、十分な補強を施してください。

カメラの電源を入/切できるように電源工事をしてください

本機には電源スイッチがありませんので、電源工事の際は、カメラの電源を入/切できるように設置してください。

ネットワーク接続について

ネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

取付ねじの締め付けについて

- ねじやボルトは、取付場所の材質や構造に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損や締めすぎの原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めあはとは、目視で、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

木製部用以外への取付ねじは別途をご用意ください

本機に付属のねじ（ねじB）は木製部専用の取付ねじです。取付場所のねじり強度は、1本あたり294 N（30 kgf）以上が必要です。

カメラ本体内部のねじは外さない（ゆるめない）てください

カメラ本体内部のねじをゆるめると、故障や落下事故の原因となります。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

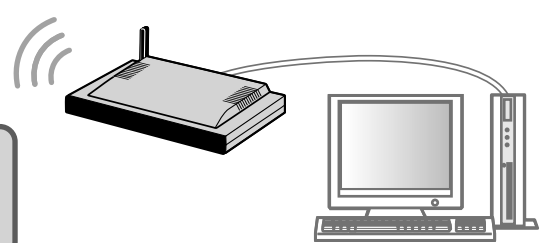
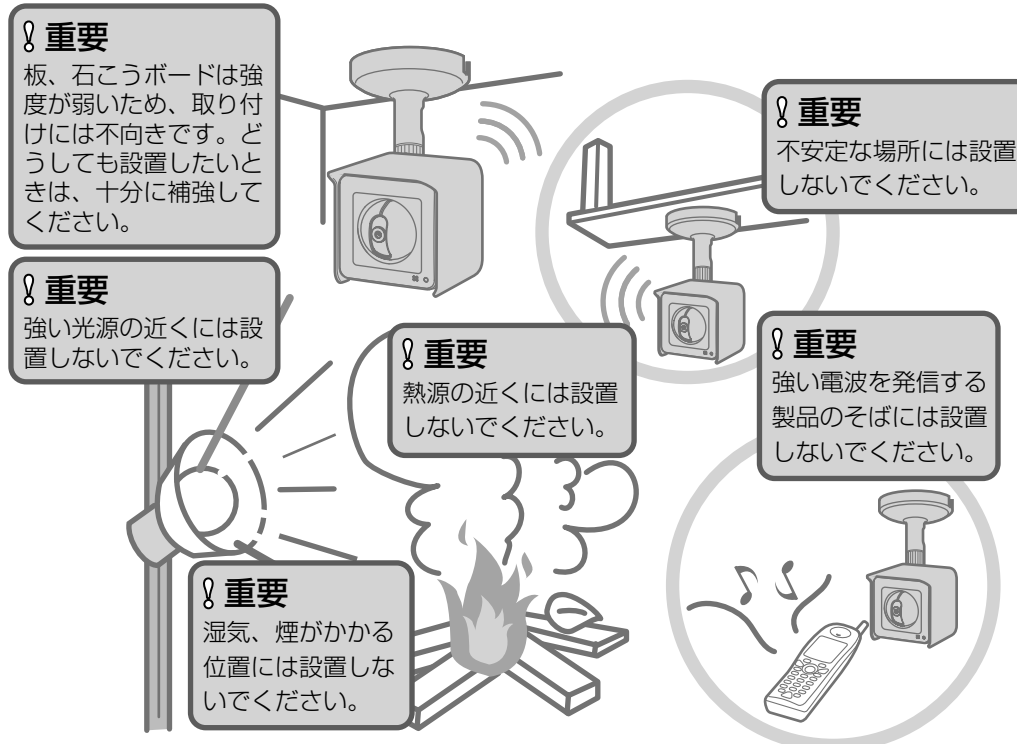
ルーターについて

本機をインターネットに接続する場合、ルーターを使用するときは、ポートフォーワード機能（NAT、IPマスカレード）付きのプロキシ/ルーターを使用してください。ポートフォーワード機能の概要については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。本機を無線接続する場合、無線信号強度は、簡号化強度が高いWPA2-PSK(AES)がWPA-PSK(AES)を設定することをお勧めします。

時刻設定について

テレビやラジオの時刻の設定が必要です。時刻の設定については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。

カメラの取り付け位置を決める

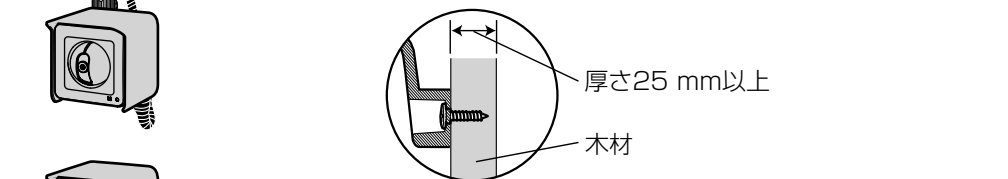


- 無線接続をご利用になる場合は、取り付ける前に無線ルーターとの無線設定を事前に行ってください。
- 取り付け位置から無線ルーターに無線接続できるか、事前にご確認ください。詳しくは「3 カメラを接続する」を参照してください。

取り付け方を決める

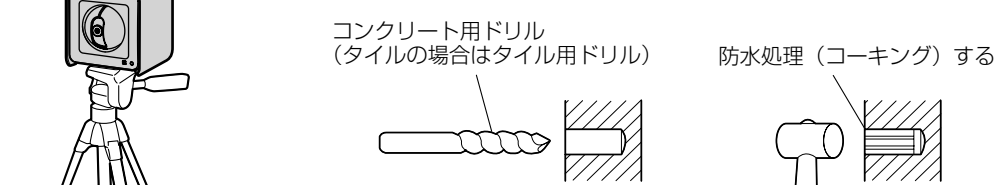
■天井または壁に取り付ける

カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。



天井または壁の材質がモルタルやコンクリートのとき

1. スタンドを設置したい位置に合わせてねじC（3か所）と落下防止ワイヤーの取り付け位置に印を付けます。
2. 印に合わせてドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフハンマーなどで軽くたたきます。
3. カメラを取付けたスタンドをねじで固定します。

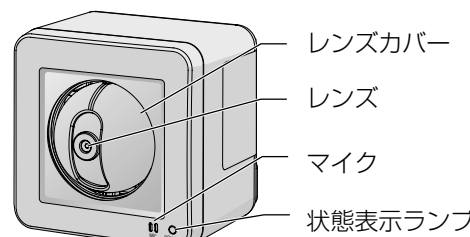


■三脚に取り付ける

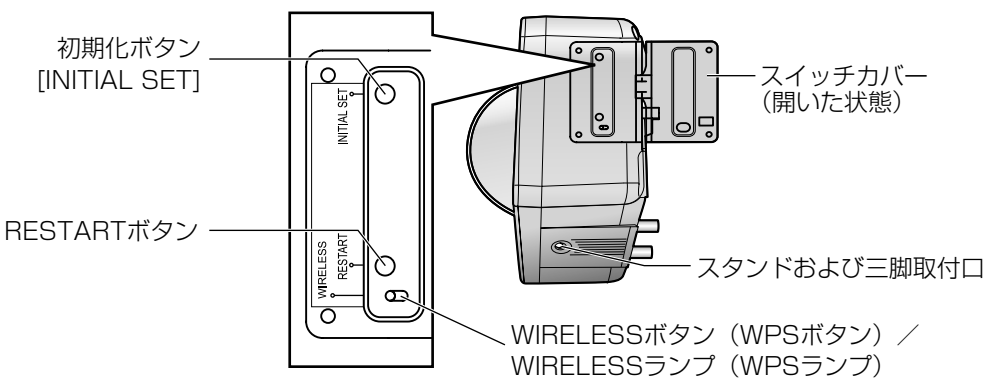
一般的なカメラで使う三脚（市販品）に取り付けることもできます。

2 各部の名前

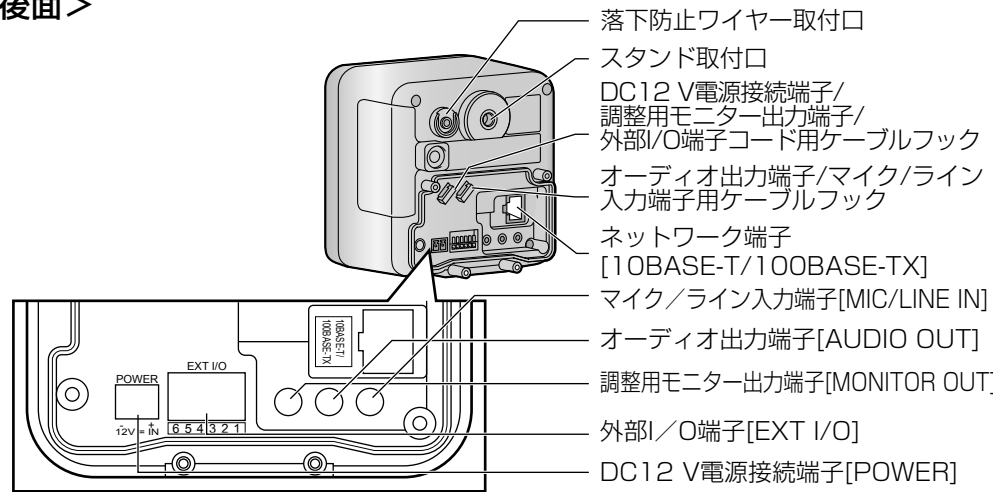
<前面>



<側面と底面>



<後面>



外部/O端子の説明

ピン	機能
6	DC電源出力 ・電源出力電圧12V ・電源出力電流100mA
5	GND
4	GND
3	外部/O端子3 (ALARM IN3/AUX OUT)
2	外部/O端子2 (ALARM IN2/ALARM OUT)
1	外部/O端子1 (ALARM IN1)

初期化ボタンについて

本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒押し続けてください。約3分後に本機が起動して、ネットワーク設定データ、無線関連を含む設定が初期化されます。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、プリセットポジションの内容、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

⚠重要

- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

RESTARTボタンについて

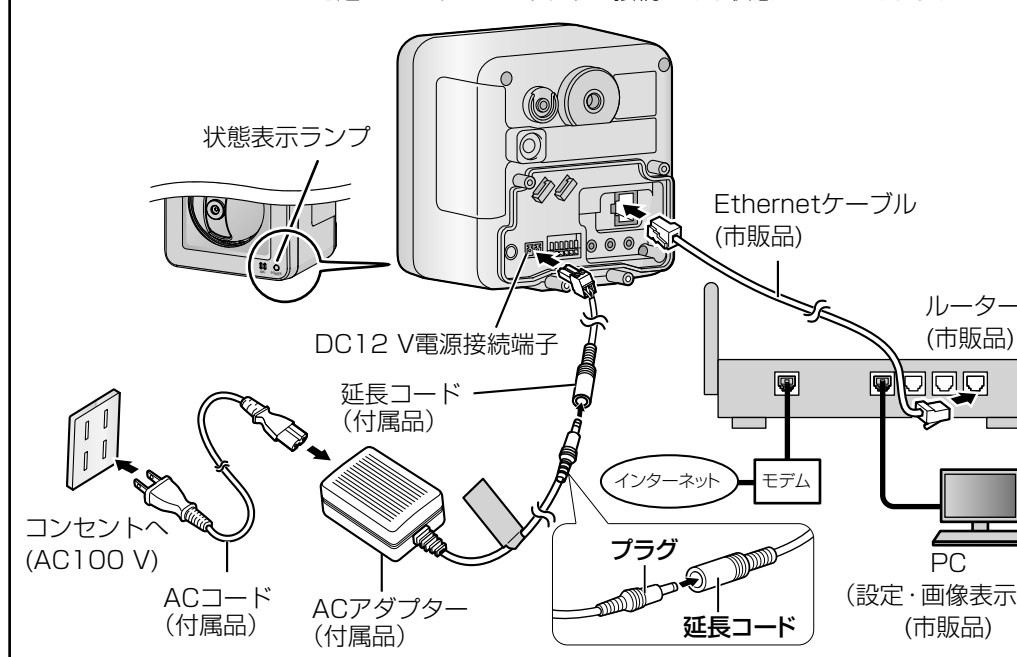
電源が入っている状態で、RESTARTボタンを押してカメラを再起動することができます。先の細長い棒状のもので、RESTARTボタンをゆっくりと約1秒押し続けてください。カメラがON/オフの初期動作をすくすく再起動は完了です。

状態表示ランプとWIRELESSボタン（WPSボタン）/WIRELESSランプ（WPSランプ）について
状態表示ランプとWIRELESSボタン（WPSボタン）/WIRELESSランプ（WPSランプ）の詳細については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)の「基本設定を行う【基本】」をお読みください。

3 カメラを接続する

Ethernetケーブルを使用して接続する場合

あらかじめ、PCはルーターを通じて、インターネットに接続できる状態にしておきます。



1 Ethernetケーブル（市販品）をカメラのネットワーク端子とルーターのLANジャックに接続する

無線で接続する場合は、Ethernetケーブルをネットワーク端子に差し込まないでください。詳しくは「無線LANを使用する接続」を参照してください。

2 延長コードの先端に電源用端子台（付属品）を接続する

接続方法については「電源用端子台を接続する」を参照してください。

3 延長コードとACアダプターのプラグを接続する

延長コードのジャック側にACアダプターのプラグを、根元までしっかり差し込みます。

4 電源用端子台を本体後面のDC12V電源接続端子に差し込む

ACアダプター（付属品）とACコード（付属品）を接続して、ACコードのプラグをコンセントに差し込む

カメラの電源が入り、カメラレンズが動き出す（動作音が聞こえます）。ネットワーク設定が完了したら状態表示ランプが緑点滅から緑点灯に変わります。

カメラの設定が完了した後は、「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。

電源用端子台（付属品）のねじをゆるめる

- 1 電源用端子台（付属品）のねじをゆるめる
- 2 電源用端子台に出力ケーブルを接続する
- 3 電源用端子台のねじを締める



⚠重要

- ACアダプターは専用のACアダプター（付属品）を使用してください。
- 電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
- 電源用端子台に延長コードを接続するときは、極性を間違わないように注意してください。極性を間違えた場合、故障や誤動作につながる可能性があります。
- 電源用端子台は、DC12V電源接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。

⚠警告

- ACアダプター、ACコード、延長コードをぬらさない（ACアダプター、ACコードは防水構造ではありません。）
- 発火・感電の原因となります。
- 本機禁止 ○ぬらした場合は手を乾かす、販売店へご相談ください。

無線LANを使用して接続する場合

本機のWIRELESSボタン（WPSボタン）を使って、無線の自動設定を行います。

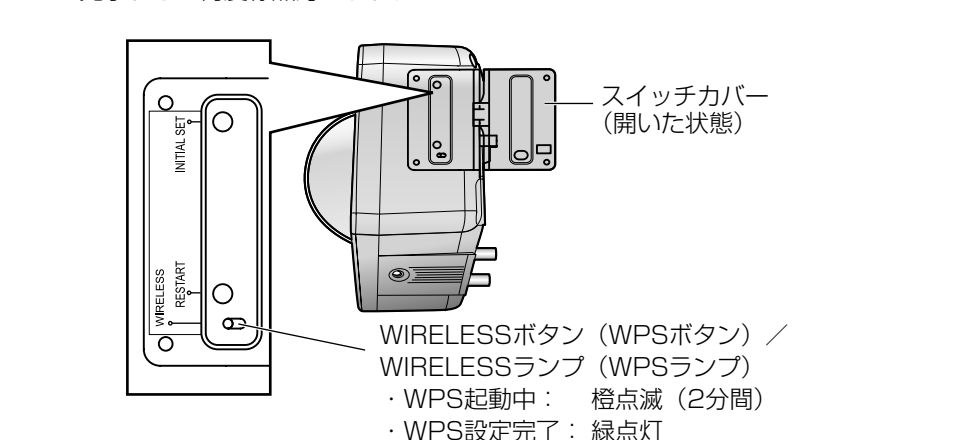
1 本機の無線機能を有効にするために、Ethernetケーブルを本機に接続せずに電源を入れる

カメラがON/オフの初期動作を行ったあと、状態表示ランプが緑点灯→消灯→緑点灯となり、本機が無線LANモードで起動します。

2 無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（PBC方式）をONにする

3 本機のWIRELESSランプ（WPSランプ）が緑点滅するまでWIRELESSボタンを約1秒以上押す

- 本機と無線ルーターが無線の自動設定を開始し、最大約2分間動作します。
- 無線の自動設定が成功すると、WIRELESSランプ（WPSランプ）が緑点滅から緑点灯し、約5秒後に再起動します。
- 再起動中、WIRELESSランプ（WPSランプ）は消灯し、約90秒後に無線接続が完了すると再度緑点灯します。



- 本機のWIRELESSランプ（WPSランプ）の点滅から約2分間経過しても無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSランプ（WPSランプ）が約10秒間赤点滅したあと消滅します。この場合、無線設定は失敗しています。無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
- WIRELESSランプ（WPSランプ）と状態表示ランプの緑点灯を消灯したい場合は、[設定メニュー]の「基本」ページの「ランプ表示」を「消灯」に設定してください。

⚠重要

- 無線ルーターがShared Key認証方式に設定されているとWPS機能は使用できません。
- 無線ルーターなどでESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を使用する設定にしている場合、WPS機能での設定はできません。
- [WPS設定]での設定中は、無線ルーターにおいて他の無線接続が一旦切断されることがあります。
- 無線ルーターで、MACアドレスフィルタリングを使用する設定になっている場合、「[WPS設定]」での設定ができないことがあります。無線ルーターの設定を確認してください。
- 無線ルーターなどでは、接続する無線LAN端末がない状態で「[WPS設定]」を行った場合、2分間で自動的にキャンセルされます。（ご使用の無線ルーターを確認してください。）
- 同一ネットワーク上に複数のWPS-ON状態の無線ルーター（Registrar）がある場合、WPSの自動設定が失敗することがあります。

カメラの接続が完了した後は、「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。

- 無線の接続状態を「設定メニュー」の「無線」ページの「ステータス」画面で確認してください。

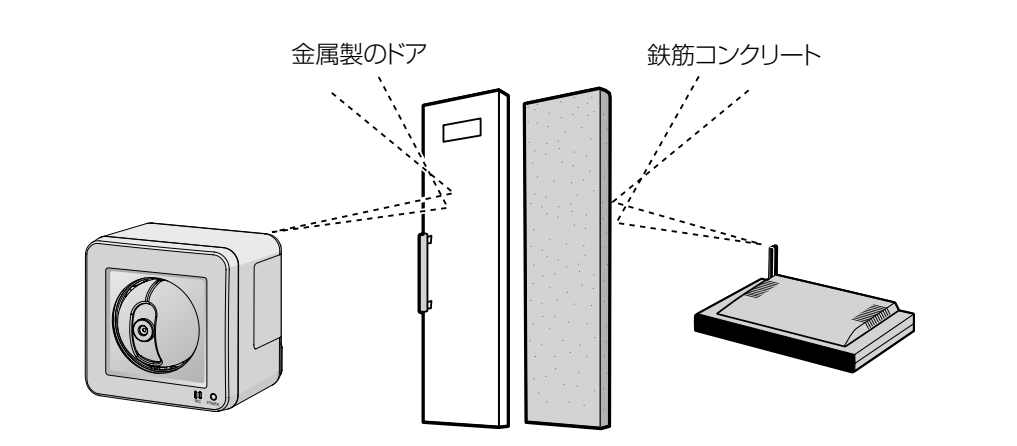
無線通信の使用範囲について

次のような環境で、機器と本製品を同時に使用しないでください（電波が混信したり、誤動作の原因となります。）

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近くや、Bluetooth機器の近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなかったり通信速度が速くなる場合があります。）

- 電波を反射する物体が周囲にあると、反射した電波の干渉で通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。
- 金属製のドアや戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 壁を何枚かへだたせたところ
- トタン製の壁
- スチール棚
- 防火ガラス



外部/O端子

外部機器を接続します。ケーブルの外径を9 mm～10 mm 切断し、ショートなどがないように芯線をよくよじってから接続してください。

- 線材仕様：22 AWG～28 AWG 単線、より線

⚠重要

- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させ、接続してください。
- 外部/O端子2と外部/O端子3は、入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部/O端子2、3（アラーム2、3）の設定（OFF/アラーム入力/アラーム出力またはAUX出力（外部出力））については「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。
- お使いのケーブル、外部/O端子は「OFF」に設定されています。「OFF」設定時は入力端子と何種類か外部機器を接続できます。
- 外部/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

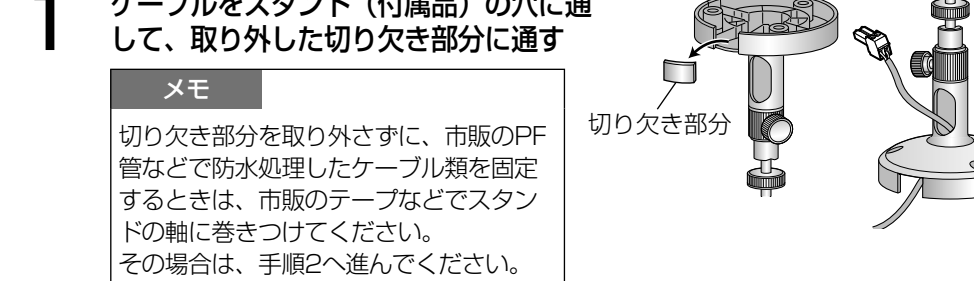
<定格>

- アラーム入力1、アラーム入力2、アラーム入力3
- 入力仕様：無電圧マイク接続入力（DC4 V～5 Vフルアップ内蔵）
- ON : オープンまたはDC4 V～5 V
- OFF : GNDとのマイク接続（必要ドライブ電流1 mA以上）
- アラーム出力、AUX出力
- 出力仕様：オープンコレクタ出力（外部からの最大印加電圧DC20 V）
- OPEN : 内部プルアップによるDC4 V～5 V
- CLOSE : 出力電圧DC1 V以下（最大ドライブ電流50 mA）

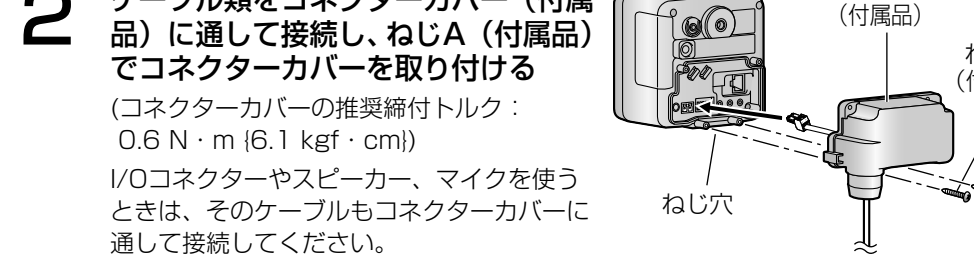
4 カメラを設置する

カメラを設置する前に、カメラの設定が完了していることを確認してください。「カメラを設定する」(チラシ)を参照してください。

1 ケーブルをスタンド（付属品）の穴に通して、取り外し可能な切り欠き部分に通す

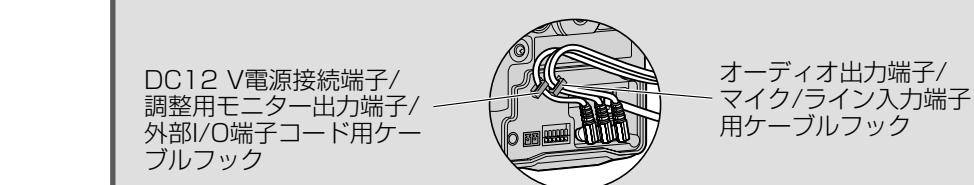


2 ケーブル類をコネクタカバー（付属品）に通して接続し、ねじA（付属品）でコネクタカバーを取り付ける

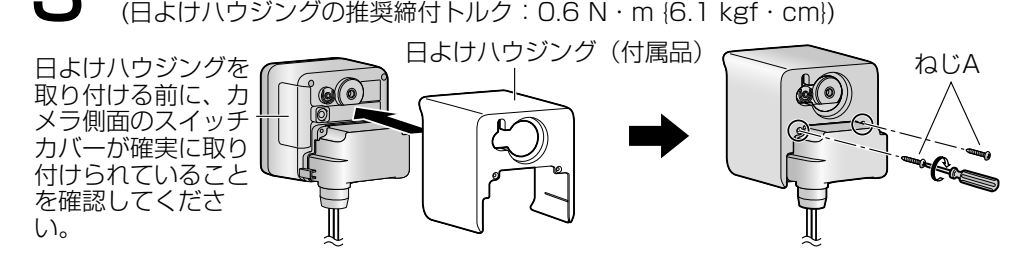


⚠重要

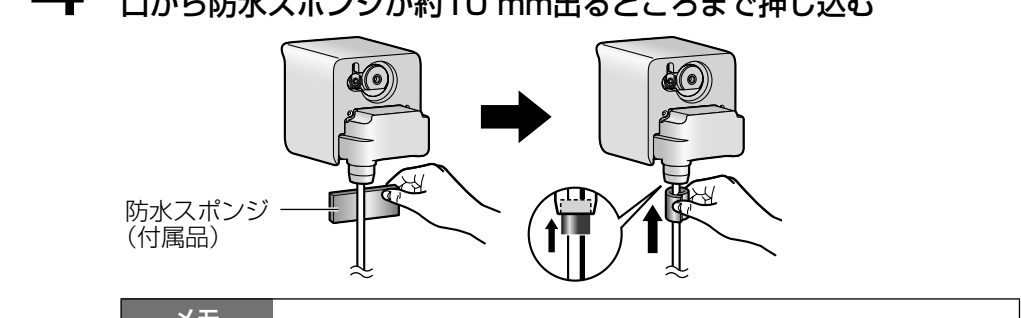
- カメラを設置するときは、外部スピーカー/外部センサー/マイク/ビデオのケーブルは、フックにかけて配線を整理してください。



3 カメラにねじAで日よけハウジング（付属品）を取り付ける



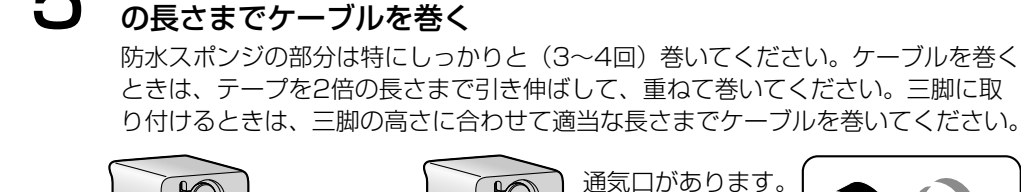
4 防水スポンジ（付属品）でケーブルを巻き、コネクタカバーの出口から防水スポンジが約10 mm出るまで押し込む



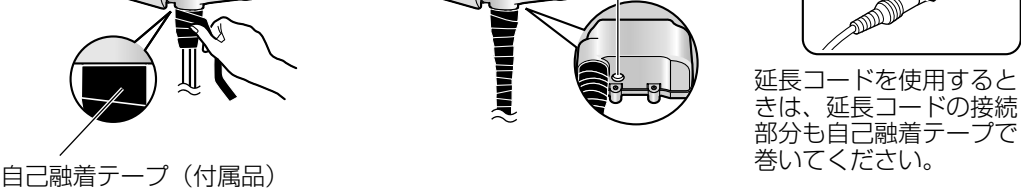
⚠重要

屋外で使用するときは、防水スポンジを必ず使用してください。防水スポンジを使用しない場合、雨などが隙間から内部へ浸透し、本体が故障することがあります。

5 自己融着テープ（付属品）でコネクタカバーの出口から約20 cmの長さまでケーブルを巻く



防水スポンジの部分はしっかりと（3～4回）巻いてください。ケーブルを巻くときは、テープを2倍の長さまで引き伸ばして、重ねて巻いてください。三脚に取り付けるときは、三脚の高さに合わせて適当な長さまでケーブルを巻いてください。

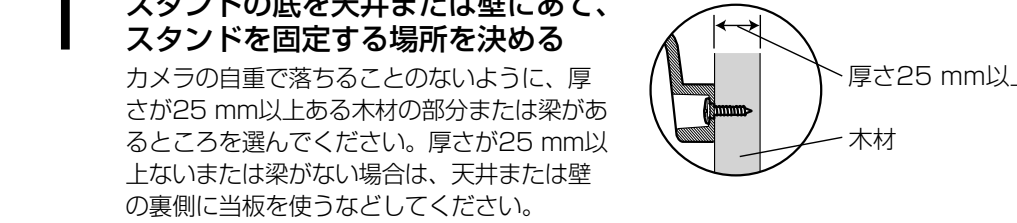


天井または壁に取り付ける

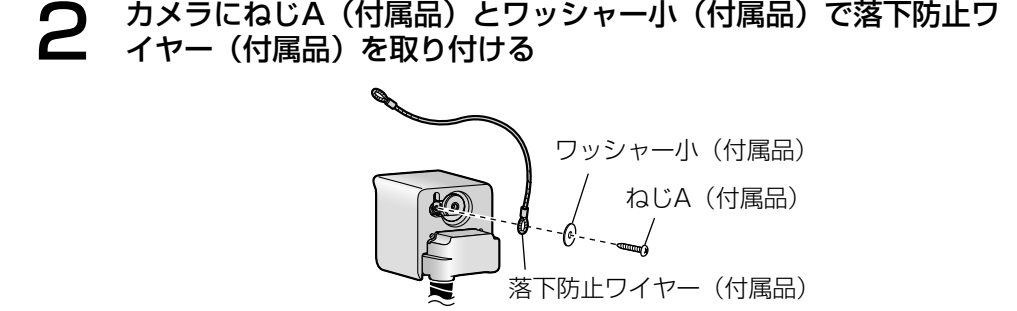
実際にPO画面上に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

メモ
状態表示ランプが右下になるように設置してください。

1 スタンドの底を天井または壁にあて、スタンドを固定する場所を決める



2 カメラにねじA（付属品）とワッシャー小（付属品）で落下防止ワイヤー（付属品）を取り付ける



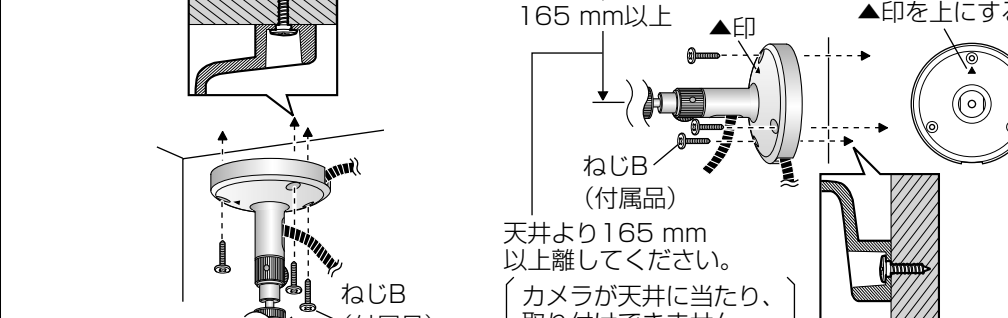
3 締め付けナットをゆるめて、スタンド取り付けねじでカメラを取り付ける



※カメラ後面のスタンド取付口に取り付けることもできます。

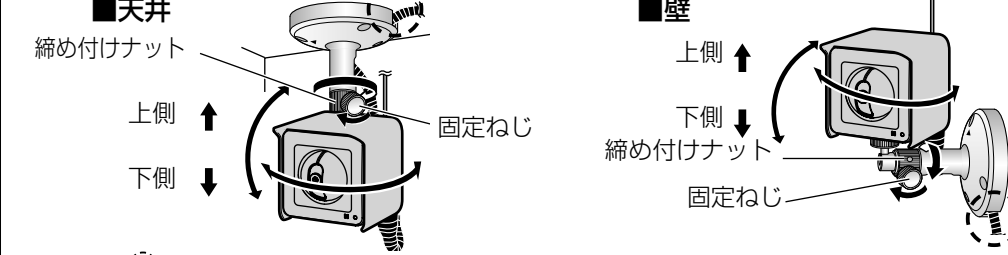
4 天井または壁にねじB（付属品）でスタンドを取り付ける

壁にスタンドを取り付ける場合は、▲印が上になるようにしてください。

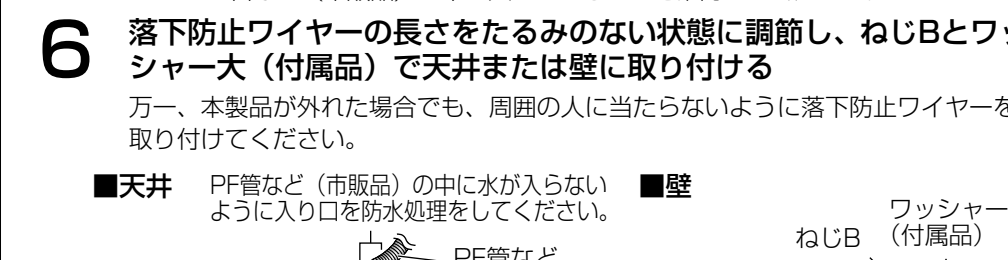


5 カメラの向き・角度を調整して、スタンドの締め付けナット、固定ねじで確実に固定する

固定ねじはカメラの向き、角度によって締め付け位置の変更が可能です。



6 落下防止ワイヤーの長さをたるまない状態で調節し、ねじBとワッシャー大（付属品）で天井または壁に取り付ける



※カメラ後面のスタンド取付口に取り付けることもできます。